

まち・ひと・しごと創生総合戦略について

1 総合戦略の概要とこれまでの取組について

「まち・ひと・しごと創生総合戦略（以下、「総合戦略」という）」とは、人口減少に歯止めをかけ、東京圏への人口の過度な集中を是正するとともに、それぞれの地域で住みよい環境を確保し、将来にわたって活力ある地域社会を実現する「地方創生」の取組を推進するための計画です。

瀬戸市では、第6次瀬戸市総合計画に掲げる将来像の実現に向け、人口減少への対応や地域経済の活性化、若い世代の結婚・出産・子育ての希望の実現、新たな人の流れの創出など、地方創生に関する取組を重点的に推進するため、「第2期瀬戸市まち・ひと・しごと創生総合戦略」を策定しました。

第2期瀬戸市総合戦略では、若い世代を主なターゲットとして、転入者が転出者を上回る「社会増」や出生率の改善を目指すとともに、まちへの愛着の醸成や瀬戸市の認知度向上を図ることを基本的な方向性として取組を進めてきました。

《第2期瀬戸市総合戦略の5つの基本目標》

①しごと	稼ぐ地域をつくとともに、安心して働けるようにします。
②にぎわい	他の地域とのつながりを築き、瀬戸市へ新しいひとの流れをつくります。
③くらし	結婚・出産・子育ての希望をかなえます。
④ひと	ひとが集う、安心して暮らすことができる魅力的な地域をつくります。

横断的目標

⑤じりつ

多様な人材の活躍を推進します。

新しい時代の流れを力にします。

2 次期瀬戸市将来計画における総合戦略の位置付け

現在策定を進めている次期瀬戸市将来計画においても、人口減少が進む中で、地域の活力を維持・向上させ、将来にわたって持続可能なまちづくりを進めることは、引き続き重要な課題です。

一方、地方創生に関する取組は、産業、子育て、教育、観光、地域づくりなど、基本計画に位置づける様々な分野の施策と密接に関係しています。

このため、次期瀬戸市将来計画の基本計画に、地方創生に関する重点的な取組を位置付け、「第3期瀬戸市総合戦略」として一体的に策定することとします。

3 今後の進め方

今後、次期瀬戸市将来計画の基本計画における全庁的な施策体系の検討とあわせて、人口減少への対応や地域の活力向上の観点から、特に重点的・分野横断的に取り組む内容を整理し、次期総合戦略としての位置付けや具体的な内容、成果を測る指標等について検討を進めます。